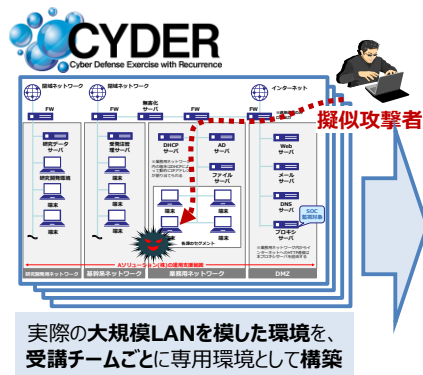


- 総務省は、2017年度から、NICTナショナルサイバートレーニングセンターにおいて、国の機関、指定法人、独立行政法人、地方公共団体及び重要インフラ事業者等の情報システム担当者等を対象とした体験型の実践的サイバー防御演習「CYDER」を開催中。
- 受講者は、チーム単位で演習に参加。組織のネットワーク環境を模した大規模仮想LAN環境下で、実機の操作を伴って、外部のセキュリティ事業者の支援を受けることを前提としてサイバー攻撃によるインシデントの検知から対応、報告、回復までの一連の対処方法を体験。
- 2024年度から、インシデント対応で「共通言語」として最低限必要となる知識の習得と最新化を行える「プレCYDER」も新たに開始。

※ CYDER: CYber Defense Exercise with Recurrence

## CYDERのイメージ



## 2024年度の開催概要

コース名	実施方法	レベル	受講想定者 (習得内容)	開催地	実施回数
CYDER	集合形式	初級	システムに携わり始めた者 (事案発生時の対応の流れ)	47都道府県	64回
		B-1	システム管理者・運用者 (主体的な事案対応・セキュリティ管理)	全国11地域	18回
		B-2		東京・大阪・名古屋	13回
	C	準上級	セキュリティ専門担当者 (高度なセキュリティ技術)	東京・大阪	5回
プレCYDER	オンライン形式	-	全ての情報システム担当者 (最低限必要となる知識の習得と最新化)	(受講者職場等)	-

## 2024年度の開催スケジュール

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
CYDER				Aコース			B-1コース			B-2コース		
								Cコース				
プレCYDER		プレCYDER (前半)					プレCYDER (後半)					

5月中旬から開催予定

※ プレCYDERは前半と後半で別内容のコンテンツを提供予定

最新の開催日程、受講申込は <https://cyder.nict.go.jp/> から